

医学系研究科医科学専攻博士課程

医療過疎解消のためのグローバル地域医療学人材育成プログラム

本プログラムは、将来、日本の研究機関、医療機関や企業と連携し、地域医療の研究や実践に地球規模で取り組む人材を育成しています。

- 募集人員 第1次募集 5人程度（うち、外国人留学生を3人程度とする）
第2次募集 5人程度（うち、外国人留学生を3人程度とする）
※注 本プログラムの募集人員は、医科学専攻博士課程募集人員30人の内数です。
- 出願資格 外国人留学生については、募集要項記載の「2 出願資格」（5～6ページ）に加えて、以下に該当する者とします。
- ・ネパール、インド、バングラデシュ、ミャンマー、タイ、ベトナム、インドネシア等の国籍を持つ者
 - ・1992年4月2日以降に出生した者
- 入試方法 募集要項8ページ記載の入試方法に加えて研究科長評価を行い、全てを総合的に評価した上で判断します。
- また、本プログラム希望者は「特別プログラム枠」としての併願扱いとなります。選抜の際は、「特別プログラム枠」の選抜を優先して行い、「特別プログラム枠」において合格とならなかった場合は、一般の出願者として再度選抜の対象となります。

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/graduate/requirements.html>

なお、本プログラムは文部科学省の「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に認定されており、外国人留学生のうち3人を国費留学生として推薦します。

特別プログラムの特色

- ・留学生の母国における地域医療の問題点を洗い出し、その改善策を検討し、母国の研究面と診療面を支える次世代のリーダーを育成することを目的に、島根大学医学系研究科及び附属病院が有する高度な専門知識と最先端の医療技術による研究指導を行う。
- ・将来、地域医療の研究や実践に地球規模で取り組む人材を育成することを目的に、「英語による発表」を必修科目としており、外国人留学生に限らず、日本人学生にとっても、英語力向上や国際的視野の涵養につながる。
- ・島根大学大学院自然科学研究科との連携による「医理工農連携プログラム」の講義を取り入れており、自然科学分野の高度な専門知識を修得できる。

特別プログラムカリキュラム表

科目区分	授業科目	地域医学研究コース (A)	地域医療人コース (B)	授業を行う年次	単位数	
					講義演習	実験実習
必修科目	医学総合研究特論 I			1・2	1	
	医学総合研究特論 II			1・2	1	
	Sustainability science and SDGs			1・2・3・4	2	
	英語による発表			1・2・3・4	2	
	特別実習			1・2・3・4		1
選択必修科目	基礎医科学	(○)		1・2	1	2
	応用医科学	(○)		1・2	1	2
	臨床医科学		(○)	1・2	1	2
	臨床腫瘍学総論	(○)	(○)	1・2	2	1
	感染症学 I	○		1・2・3・4	2	3
	基礎免疫学 I	○		1・2・3・4	2	3
	環境医学 II		○	1・2・3・4	2	3
	総合診療・地域医療学		○	1・2・3・4	2	3
選択科目	抗体やワクチンによる感染症の予防・診断・治療			1・2・3・4	2	3
	臨床免疫学 II			1・2・3・4	2	3
	腫瘍免疫学 I			1・2・3・4	2	3
	地域がん治療学			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造 II			1・2・3・4	2	3
	* Science for a sustainable society and future Earth			1・2・3・4	1	
	【医理工農連携】					
	医療のための光工学			1・2・3・4	2	3
	機能性物質・食品の医療応用と環境影響			1・2・3・4	2	3
	臨床医学と社会・環境医学への高度情報学・数学の応用			1・2・3・4	2	3
	理工医学のための生物材料学及び放射線			1・2・3・4	2	3
(備考)	必修科目 7 単位, 選択必修科目 1 3 単位 [○を付した 2 科目及び, (○)を付した 3 科目 (コース A) または 2 科目 (コース B) から 1 科目を修得すること], 選択科目 1 0 単位を含む計 3 0 単位以上を修得する。					